

第4回小平市史編さん委員会要録

1. 日時 平成21年11月7日(土) 午後3時～5時10分
2. 会場 中央図書館会議室
3. 出席者 市史編さん委員6名 欠席3名 事務局2名
4. 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 副市長挨拶
 - (4) 報告
 - ・平成21年度事業の経過報告について
 - ・史料集の刊行について
 - ・「市史研究 第2号」の編集について
 - ・市報の掲載について
 - (5) 議事
 - ・調査・研究の進め方と課題について
 - ・調査研究報告事業の中間報告について
 - (6) 閉会

配布資料

- ・事業報告(民俗編)(近世編)(近現代編)
- ・『「小平の歴史を拓くー市史研究ー」第2号概要

<会議の概要>

- ・昼間副市長挨拶

市史編さん事業としては、短い期間で成果を出していただく必要があるということで、大変ご苦勞をおかけしている。

皆様方の築かれてきた実績と経験を十分に發揮していただき、今後50年も、100年も使い続けられ、親しまれる市史を目指してご尽力いただきたいと思います。

市役所をあげて支援し、協力してまいりたい。

・事務局より、配布資料に基づき報告事項の説明及び議題の説明

・議題に対する質疑応答等

委員：武蔵野美術大学との協力はどうなっているのか。

→少しずつ接点を見出している。

委員：ホームページのアクセス数はどうか。

→トップページから内部に入っているの、数値はわからない。

今後、リンク先のPRに努めたい。

委員：定期的にPRしていく必要がある。

→調査協力をして頂いた方にもPRをお願いしている。

委員：事業報告の近現代の合同調査とは何か。

→調査員一人ではなく、委員と一緒に調査を実施するパターンがあるので使い分けをした。

委員長：史料集の刊行については史料的な特徴を丁寧に掲載して頂きたい。

→解題の作成時間も考慮して刊行していきたい。

委員：市史研究について、学校連携作業についてはどこで掲載されるのか。

→編さん室日記の中で掲載する予定。

委員：史料集の刊行については史料的な特徴を丁寧に掲載して頂きたい。

→解題の時間も考慮して刊行していきたい。

委員：市史研究の購買層は。

→各施設で販売しているのでわからないが、歴史に興味がある方が中心と思われる。

委員：市報元旦特集号では積極的に宣伝して欲しい。

→限られたスペースではあるが、その方向で掲載する。

委員：市史の制作過程やプロセスの記録が重要であるから何らかしらの最終出版物に掲載できないか、次回以降の検討課題としたい。

委員長：最後の市史研究を使うという方法もある。

→それは良い方法だと思う。